

西国巡礼慈悲の道

西国第二十三番

応頂山

勝尾寺

現代医学と巡礼

貫主 小嶋秀算



昨今の医学の進歩には目を見張るものがあります。

今、まさに人間のカラダを構成している元の元まで、解明されようとしております。

聞けば細胞の成り立ちや、仕組みが解明される事によって癌や難病、そして今まで諦めざるを得なかった不治の病も完治するかも知れない、そんな未来が近づいているので御座います。医道に進む者でない私

はただただ驚くほか御座いませんが、その研究記事の中にいつも出てくるコトバ

に「遺伝子」と云うものがあります。遺伝子つまりDNA、血のルーツが急激にクローズアップされ始めています。

それらを思う時、初めて我々の両親、祖父母、そして先祖にまで意識が広がり、医学関係者だけでなく我々僧侶もiPS細胞の研究がよそ事ではないと感

じるので御座います。

親の病歴、祖父母の結婚、先祖の住んだ地域、また、その人達はどんな性格でどんな人生を歩んで来た人達であるのか？ それらの全てがDNAというカタチで残り、目に見えない

その遺伝子を大切に受け継いで、今のわたしたちが存在している訳で御座います。まぎれも無いこの現実を目の当たりにして、現代人は初めて「先祖」なる存在に想いを馳せるのかも知れません。

「核家族」や「お一人さま」のような「個」の精神が蔓延している中、世界を揺るがす研究発表と並行して、自身のルーツや血の根源に目を向け、親を想い、

祖父母を感じ、仏壇に手を合わせ、墓参に行くなどして、今「自分が在る」事に感謝する機会を持つて頂きたいものであります。

巡礼とは、親に感謝、先祖に感謝、観音さまに感謝の意を表す旅であり、自分の源流に目を向け、自身を知り、己の中の「仏」と出会おう。そんな至極幸せな時間と場所が、巡礼者である皆さま方に惜しげも無く与えられているではありませんか？

一見、全く異種とも思える「現代高度医療」と「巡礼」なるモノは、深く底底において、強く結びついている様に思えるので御座います。 合掌

西国第二十三番

かつおうじ
 応頂山 勝尾寺

真言宗

御本尊／十一面千手観世音菩薩 開基／開成

おもくとも つみにはのりの かしおでら
 ほとけをたのむ みこそやすけれ

＊主な年中行事＊

1月1日	初詣
1月1日～3日	特別大護摩祈願
1月18日	初観音大祭
1月中	新年特別勝運 <small>からん</small> 祈願
1月28日	日本最初厄払い三宝荒神大祭
2月3日	節分会
3月中旬	春季彼岸法要
4月中	サクラまつり
5月中	シャクナゲまつり
6月中	アジサイまつり
8月中	施餓鬼法要
8月15日	特別施餓鬼大法要
9月中旬	秋季彼岸法要
11月中	紅葉まつり
12月18日	しまい観音大祭
12月28日	お焚きあげ
12月31日	除夜会

観音風光

「勝運の寺」「勝ちダルマ」の寺として勝運信仰の歴史は古い。境内に勝運成就した「勝ちダルマ」がところ狭しと奉納されている。山門より見上げる八万坪の境内は圧巻。特にサクラ、シャクナゲ、アジサイ、紅葉の名所であり、癒しの空間として自然のご利益を求める参拝者も絶えない。

ご詠歌の意味

罪とは神仏の教えを素直に受け取る事の出来ない狭い我々の考え方であり、行いの事である。「ほとけを頼む」と云うのは、その過ちをほとけに肩代わりして貰うのではなく、凡夫である我が身にこそ「仏性」が宿っている事を知り、我が身の中におわします神仏を礼拝する事こそ、安けれ、嬉しけれ。と云う意味で御座います。

〒562-8508 大阪府箕面市勝尾寺 TEL 072-721-7010

納経時間 平日：午前8時～午後5時 土曜：午前8時～午後5時30分
 日祝：午前8時～午後6時

西国三十三所礼所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。